

— 明治・大正・昭和の心を残し伝えたい —

# 日本三村サミット



ユニークなトークで会場とともに盛り上がる3村長



エスコートをした恵那南高校の生徒と記念撮影

### 【日本三村サミット共同宣言】

このたび私達三人は、明治・大正・昭和それぞれの時代を改めて検証し、これからの時代に役立つものを探し出し、それを磨いて遠い未来へまで伝えよう...という考えの下に、本月初めて一堂に会し、話し合いをいたしました。

今、この地を改めて踏みしめながら、便利さと効率性を優先する現代の流れの中で、とかく忘れられがちな、日本の原風景、そして貴重な文化遺産を再認識し、それとともに、何故かこみ上げてくる不思議な懐かしさを、抑えることができませんでした。

明治・大正・昭和...それは、我々の心の片隅に眠る原風景。ここへ足を運べば、三つの村は、いつでもあなたを優しく包んで、それぞれの時代へと誘ってくれる。

ここは、単に歴史の移り変わりを伝えるだけの場所ではなく、あなたが、そして私、自分の人生を振り返ることの出来る空間としていきたい。

これからも三つの村はしっかりと手を組み、それぞれの時代の心と文化を発信して、未来の子供たちへ大切な遺産として保存・伝承するとともに、観光の振興にも取り組んでいく志の変わらぬことを確認し、ここに宣言いたします。

平成20年11月3日

博物館明治村村長 小沢昭一  
 日本大正村村長 司葉子  
 日本昭和村名譽村長 中村玉緒



手を取り合って3村の相互連携を誓う中村玉緒名譽村長、小沢昭一村長、司葉子村長（左から）



人力車に乗り観衆の呼び掛けに応える3村長



パレードの先頭をちんどん屋がにぎやかに通る



大正音頭を小学生らが祭り衣裳で踊りながら続く

大正百年まであと3年となり、博物館明治村の小沢昭一村長、日本大正村の司葉子村長、日本昭和村の中村玉緒名譽村長が一堂に会し、3時代の心と文化を後世へ伝える「日本三村サミット」が、11月3日、明智かえでホールで開催されました。

サミットのコーディネーターには、鳥羽水族館の中村幸昭名譽館長を迎え、3村長がそれぞれの時代の特徴を紹介。また小沢村長が得意のハーパー二力演奏と歌を披露して盛り上げたほか、中村館長と3村長のユニークなトークで会場を沸かせました。

会場に駆け付けた古田肇県知事は「この3村は国民的な財産であり、守り継がなければならぬ。このサミットは、今後もぜひ続けてほしい」とエールを送りました。また会場村である司村長は「ふるさとには、人の心があることに感動しました。大正百年に向けて、大正時代の良き文化、良き人の心を全国に発信していきたい。明治、大正、昭和の心で、3村を保持し、平成の若い人に、それぞれの時代の心伝えていきたい」と思いを伝えました。